

1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	7	事例No	3	依頼者	日進市立東小学校	実施場所	日進市立東小学校
実施対象	4年生3クラス(94名)						
実施日時	令和2年10月21日(水) 8時45分~10時20分、10時45分~12時20分 13時45分~15時20分 (3クラス別々に実施)						
テーマ	葉っぱはえらい(地球温暖化と木(森)のはたらきについて)						

●依頼内容

小学校4年生を対象に、環境学習の授業を実施していただける講師を紹介してほしい。子どもたちが環境問題に関心を持ち、知識や考えを広げたり深めたりする授業を行いたい。地球温暖化にフォーカスし、温暖化の原因、防ぎ方、新エネルギー等について教えたい。授業は2回に分けて実施し、1回目は地球温暖化、2回目は新エネルギー等持続可能な社会というテーマで行いたい。

●講師：村瀬 政彦 (環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員)

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、愛知県の環境学習の講師としても登録されている。

●授業の内容：

座学	講師の紹介と関連講座の復習	はじめに、講師の紹介が行われた。つづいて、授業の導入として、今日の授業に関連して先週子どもたちが授業で学んだ地球温暖化やスーパー台風(台風の目の写真等)等に関するクイズが行われた。	10分
	木々の働きに関する学習	授業は主にパワーポイントを使って行われた。地球の歴史を1年にたとえ、カレンダーを使いながら人間の誕生後のわずかな期間で地球環境の変化が起きていることを示したり、樹木のCO ₂ 吸収機能や地球上におけるCO ₂ の循環についての説明が行われた。また、樹木の働きの重要性や屋外で行う樹木の観察の内容と方法についての説明が行われた。	35分
屋外活動	木々の観察と結果整理及び発表	班ごとに木の幹を測定する人、日なた・日陰の気温を測定する人、木の葉の蒸散を確認する人などの役割分担を行った上で、校庭に出て樹木の観察、調査を行った。その後、教室に戻り、調査の結果を決められた計算式にあてはめることで、それぞれの木が吸収してくれるCO ₂ の量を算出した。最後に、班ごとに調査の結果を黒板に書いて発表した。	45分

●授業の様子

はじめに、講師から先週の授業の復習を兼ねて地球温暖化(台風の目の写真)や食品ロス(食べ残し量)に関するクイズが出され、子どもたちは積極的に手を挙げて答えていました。木々の働きについて学ぶ学習は、その後校庭で行う観察、調査につながる内容であり、子どもたちは真剣に話を聞いていました。樹木の観察、調査では、一人ひとりに役割が割り当てられ、樹種を調べたり、巻き尺を使って幹回りを測ったり、日なたと日影の気温を計ったりと意欲的に取り組んでいました。教室にもどってからは、樹木が吸収してくれるCO₂の量の計算に真剣に取り組み、班ごとに発表をしていました。

教室で木のはたらきについて学習しました。



校庭に出て木の幹の太さや蒸散について調べました。

